

2024 年 度

日 本 史 B

注 意

1. 監督者の合図があるまでは問題冊子と解答用紙を開かないでください。
2. 別紙の解答用紙は、マーク用解答用紙(1)と記述用解答用紙(2)とに分かれています。指定された解答欄をまちがえないように注意してください。
3. 解答用紙(1)は直接コンピューターにかけますので、折りまげたり、よごしたりしないでください。また枠で囲まれた部分以外には記入しないでください。
4. 解答用紙(1)にマークするときは該当する○にはっきりとマークしてください。

マークのしかた (良い例) ●
(悪い例) ⊗ ⊗ ⊗ ⊗

(万年筆、ボールペンなどは使用してはいけません)

5. 解答用紙(1)に誤ってマークした場合には、消しゴムで跡が残らないようにていねいに消し、消しかすをきれいに払ってください。
6. 試験開始後、解答用紙(1)には氏名、受験番号を記入し、さらにその番号をマークしてください。なお、受験番号を記入するときには解答用紙(1)の〔受験番号記入上の注意〕をよく読んで、まちがいのないようにしてください。
解答用紙(2)には、氏名、受験番号を記入してください。
7. 試験問題はこの冊子の1～12ページに記載されています。
問題冊子の余白部分は、メモとして利用して構いません。
8. 試験終了後、この問題冊子は持ち帰ってください。

1 次の文章を読んで、以下の問に答えなさい。

6代将軍徳川家宣・7代将軍徳川家継の治世は、侍講の新井白石が側用人^aとともに幕政を主導し、正徳の治と称された。まず前代の徳川綱吉が行ってきた事業の見直しが行われ、bを廃止した。そして元禄金銀鑄造^cの中心人物であったdを罷免し、家継の代には新たに正徳金銀を鑄造した。長崎貿易については、海舶互市新例^eを出して対応をはかった。対朝鮮政策に関しては、朝鮮からの使節^fの待遇を簡素化するとともに、国書に記されていた将軍の呼称を「日本国大君」から「日本国王」に変更させた。また、対朝廷政策では、費用を献じて新たな宮家として閑院宮家を創設した。

一方、白石は、学者^gとしても多くの業績を残した。歴史書としては独自の時代区分^hで江戸幕府の正統性を主張した『読史余論』、『日本書紀』の神代の巻について合理的解釈を下した『i-1』、白石の自伝としては『i-2』、蘭学の先駆的な業績としては、『西洋紀聞』などがある。
j

問 a. 下線部 a に関連して、側用人に任命されたⅠ～Ⅲの人物を、任命された時期の古いものから年代順に並べたものとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

- | | | |
|---------|---------|--------|
| Ⅰ 間部詮房 | Ⅱ 田沼意次 | Ⅲ 柳沢吉保 |
| ① Ⅰ—Ⅲ—Ⅱ | ② Ⅱ—Ⅰ—Ⅲ | |
| ③ Ⅱ—Ⅲ—Ⅰ | ④ Ⅲ—Ⅰ—Ⅱ | |

問 b. 空欄 b に当てはまる語句として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- | | |
|-----------|---------|
| ① 末期養子の禁止 | ② 旧里帰農令 |
| ③ 生類憐みの令 | ④ 出版統制令 |

問 c. 下線部 c に関連して、江戸幕府による貨幣の鑄造に関する説明として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 金座は江戸・京都におかれ、後藤庄三郎のもとで小判などの秤量貨幣が鑄造された。
- ② 徳川家康は全国各地に銭座を設けて、寛永通宝を発行させて全国に流通させた。
- ③ 徳川吉宗は、享保金銀よりも質を下げた元文金銀を鑄造させた。
- ④ 幕末の自由貿易開始後に、日本と外国との金銀比価が違ったため多くの銀貨が流出したので、幕府は万延貨幣改鑄を行った。

問 d. 空欄 d に当てはまる人物として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 大岡忠相 ② 荻原重秀 ③ 神尾春央 ④ 酒井忠清

問 e. 下線部 e に関連して、海舶互市新例についての次の史料に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

〔史料〕

- 一 長崎表廻銅、凡一年の定数四百万斤より四百五拾万斤迄の間を以て、其限とすべき事。…
- 一 唐人方商売の法、凡一年の船数、口船、奥船合せて三拾艘、すべて銀高六千貫目に限り、其内銅三百万斤を相渡すべき事。…
- 一 阿蘭陀人商売の法、凡一年の船数貳艘、凡て銀高三千貫目限り、其内銅百五拾万斤を渡すべき事。…

正徳五年正月十一日

(『教令類纂』)

ア 銅の輸出を奨励するため、長崎へ送る輸出用の銅については制限を撤廃した。

イ 通商国である清国とオランダを対象に、貿易額と船数を制限して金銀の海外流出を防ごうとした。

- | | |
|----------------|----------------|
| ① ア — 正, イ — 正 | ② ア — 正, イ — 誤 |
| ③ ア — 誤, イ — 正 | ④ ア — 誤, イ — 誤 |

問 f. 下線部 f に関連して、朝鮮からの使節に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 当初は回答兼刷還使と呼ばれ、豊臣秀吉による朝鮮出兵で連行された朝鮮人捕虜の返還などを目的にしていた。

イ 朝鮮からの使節は4回目からは通信使と呼ばれ、江戸幕府の将軍代替わりごとなどに祝賀のため派遣された。

- | | |
|----------------|----------------|
| ① ア — 正, イ — 正 | ② ア — 正, イ — 誤 |
| ③ ア — 誤, イ — 正 | ④ ア — 誤, イ — 誤 |

問 g. 下線部 g に関連して、閑院宮典仁親王を父にもつ天皇として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 後桃園天皇 ② 光格天皇
③ 後水尾天皇 ④ 明正天皇

問 h. 下線部 h に関連して、新井白石の師である木下順庵に関する説明として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 加賀前田家に用いられたのち、徳川綱吉の侍講となり、門人に雨森芳洲らがいる。
- ② 江戸で保科正之に献策するとともに神道を儒教流に解釈して垂加神道を説いた。
- ③ 南学派の儒学者である谷時中に学び、土佐藩の家老として新田開発や殖産興業などの藩政改革を推進した。
- ④ 岡山藩主池田光政に仕えて治績をあげ、『大学或問』を著して武士土着論を説いて幕政を批判した。

問 i. 空欄 i-1・i-2 に当てはまる語句の組合せ (i-1・i-2 の順) として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 古史通・折たく柴の記
- ② 古史通・宇下人言
- ③ 国意考・折たく柴の記
- ④ 国意考・宇下人言

問 j. 下線部 j に関連して、『西洋紀聞』は宣教師に対する尋問で得た知識によって書かれたものである。その宣教師として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- [illegible]

2 次の文章を読んで、以下の問に答えなさい。

明治政府は中央集権化を徹底するために、薩長土3藩から親兵を徴集して廃藩置県^aを断行した。政府は廃藩置県によって藩兵を解散させたが、その一部は親兵とあわせて直属軍に編成して各地の鎮台に配置し、不平士族の反乱^bなどに備えた。その一方、政府は1872年に徴兵告諭^cを発し、翌年には徴兵令を公布し、ここに統一的な兵制が立てられた。1878年には軍令機関である を天皇直属の機関として設置し、1882年には天皇への絶対的忠誠を強調する を出した。そして、1888年には陸軍を鎮台制から対外戦争にも対応できる師団制に移行させた。

1889年に制定された大日本帝国憲法では、そのなかで規定された天皇大権^fの一つとして、陸海軍の統帥権が内閣から独立して天皇に直属していた。憲法制定の翌年に帝国議会が開設されると、第1議会から第4議会^gでは、軍備拡張予算をめぐる攻防が政府と民党とのあいだで展開された。

日清戦争後の1898年には^h、藩閥官僚内閣である第2次山県有朋内閣ⁱが誕生し、そのもとで1900年に軍部大臣現役武官制が制定され、陸海軍大臣の任用は現役の大將・中將に限定された。その後、この制度は廃止された時期もあったが、内閣の打倒に利用されることもあった^j。

問 a. 下線部 a に関連して、廃藩置県に関する説明として誤っているものを、次のうちから一つ選びなさい。

- ① 廃藩置県によって、すべての藩は廃止され、当初置かれた県は302県であった。
- ② 廃藩置県によって、知藩事は罷免されて東京居住が命じられ、かわって中央から府知事・県令が派遣された。
- ③ 廃藩置県によって、各藩に属していた徴税と軍事の権利は中央政府のもとに集中した。
- ④ 廃藩置県後の官制改革では、神祇官が太政官の外に設置され、太政官のもとに各省が配置された。

① 神風連の乱 ② 秋月の乱
③ 佐賀の乱 ④ 萩の乱

〔史料〕

(『法令全書』)

イ 満20歳に達した男性は徴兵の対象となったが、一方で徴兵令には多くの兵役免除規定が存在した。

- ① アー正, イー正 ② アー正, イー誤
③ アー誤, イー正 ④ アー誤, イー誤

① 陸軍省 ② 軍務官 ③ 參謀本部 ④ 軍需省

① 戊申詔書 ② 軍人勅諭 ③ 軍人訓誡 ④ 教学大旨

問 f. 下線部 f に関連して、議会の関与できない天皇大権として適切でないものを、次のうちから一つ選びなさい。

- | | |
|--------------|------------|
| ① 宣戦・講和・条約締結 | ② 緊急勅令の制定 |
| ③ 文武官の任免 | ④ 法律・予算の制定 |

問 g. 下線部 g に関連して、第 1 議会から第 4 議会までの出来事に関する I～Ⅲの説明を、古いものから年代順に並べたものとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

I 政府は天皇の詔書によって海軍軍備の拡張に成功した。

Ⅱ 政府は立憲自由党の一部を切り崩して予算を成立させた。

Ⅲ 内務大臣の品川弥二郎を中心に激しい選挙干渉が行われた。

- | | |
|---------|---------|
| ① I—Ⅲ—Ⅱ | ② Ⅱ—I—Ⅲ |
| ③ Ⅱ—Ⅲ—I | ④ Ⅲ—I—Ⅱ |

問 h. 下線部 h に関連して、日清戦争勃発の契機となった出来事として適切なものを、次のうちから一つ選びなさい。

- | | |
|----------|-----------|
| ① 義和団事件 | ② 三・一独立運動 |
| ③ 甲午農民戦争 | ④ 江華島事件 |

問 i. 下線部 i に関連して、第 2 次山県内閣の政策に関するア・イの説明について、その正誤の組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 憲政党の支持を得て懸案の地租増徴案を成立させた。

イ 治安警察法を公布して労働運動などの規制を強化した。

- | | |
|------------|------------|
| ① ア—正, イ—正 | ② ア—正, イ—誤 |
| ③ ア—誤, イ—正 | ④ ア—誤, イ—誤 |

問 j. 下線部 j に関連して、軍部大臣現役武官制に関するア～エの説明について、正しいものの組合せとして適切なものを、下のうちから一つ選びなさい。

ア 第 1 次山本権兵衛内閣は、軍部大臣現役武官制にかわって文官任用令を新たに公布した。

イ 二・二六事件後に組織された広田弘毅内閣は、軍部の要求を受け入れて軍部大臣現役武官制を復活させた。

ウ 第 2 次大隈重信内閣の時代に、陸軍は陸軍大臣を辞任させ、軍部大臣現役武官制を盾に内閣を総辞職に追いこんだ。

エ 広田弘毅内閣が総辞職すると、組閣の大命は宇垣一成にくだったが、陸軍が陸軍大臣を推挙しないことで組閣を阻止した。

- ① ア・ウ ② ア・エ ③ イ・ウ ④ イ・エ

次の文章A・Bを読んで、以下の問に答えなさい。

- 【A】 頼朝の後を継いだ二代将軍・源頼家(在任1202～03年)の代には、御家人のなかから北条氏が台頭してきます。北条氏の思惑としては、できれば頼家にはあまり動いてほしくない。なぜなら、頼家は頼朝と北条政子の間に生まれた子なので北条氏にゆかりがあると言えそうですが、この時代には子に対して乳母の家の影響力が強かったのです。頼家の乳母は二人とも比企家の女性でした。また、頼家は比企能員の娘・若狭局を妻に迎えました。つまり、頼家の後見人^aのようなポジションにあるのは比企氏ということになります。ちなみに頼朝の乳母も能員の義母・比企尼でした。

頼家が頼朝のようなリーダーシップを発揮すると、御家人のなかでは北条氏ではなく、比企氏の発言力が増していってしまう。そこで、北条氏はさまざまな策を弄して、強制的に将軍を神輿化しようとします。頼家の代に「十三人^bの合議制」が生まれたのも、北条氏对比企氏の勢力争いの過程のなかでのことだったわけです。合議制には北条政子の父である北条時政とその息子・北条義時(このときは江間義時)というように、北条氏から二人が加えられています。合議制を導入する提案は、おそらく北条氏の策略だったのだろうと考えられるわけです。

また、ここが北条氏の抜け目のなさですが、頼朝が京都から連れてきて、その手足として使っていた大江広元^cをはじめとする文官を味方につけました。これにより北条氏は御家人の間での権力争いを一歩リードし、将軍を傀儡化することに成功しました。その総仕上げとして、比企氏を謀略によって退け、頼家^dを将軍の座から下ろし、北条氏のもとで成長したその弟の実朝を将軍として担ぎ上げたのです。

- 【B】 三代将軍となった源実朝(在任1203～19年)は、頼家と同じく、頼朝と北条政子の間に生まれた子です。ただ頼朝や頼家と違って、乳母は比企氏ではなく北条氏、政子の妹の阿波局でした。いわば北条氏が神輿化しやすい将軍だったのです。文官を味方につけることで政治を掌握した北条氏は、最大のライバルであった比企氏を退けたのち、今度は軍事でも大きな力を発揮するようになります。

そもそも北条氏は、軍事の面ではそこまで大きな勢力だったわけではありません。頼朝が挙兵したとき、政子の父・北条時政は源氏の嫡流である婿殿に自分の命運の全てを賭けたわけです。当然、かき集められるだけの兵力を動員したことでしょう。ところが、このときの時政の兵数はわずか50人ほどでした。これに対して、比企氏やのちに鎌倉幕府の軍事を担う e の別当になる和田氏は、だいたいその5倍から6倍ほどの兵数を動員することができました。ですから、北条氏は軍事でまともにぶつかり合うのではなく、さまざまな策を弄して、ライバルたちを失脚させていった。そうせざるを得なかったのです。

しかし、武家の政権においてやはり重要なのは軍事です。最後は武力がものを言うわけです。やがて力を蓄え、土地を増やし、経済的にも豊かになった北条氏は十分な軍事力も手にすることになります。鎌倉幕府の軍事を代表する和田義盛とも力と力の戦いで渡り合えるほどに成長したのです。1213年の和田合戦では、北条義時と和田義盛が鎌倉を舞台に市街戦を繰り広げています。かつて50対300という圧倒的な兵力差があったはずの北条氏と和田氏でしたが、このときには北条氏の勢力が増大し、自前の軍事力で和田氏を退けることができたのです。御家人の軍事の代表格を自らの力で打ち破った北条義時は、e 別当の地位を手に入れました。こうして、北条氏は政治だけでなく軍事をも掌握したのです。將軍權力である軍事と政治の両面を北条氏が担うことで、將軍の神輿化は加速していきます。

一方、実朝が後鳥羽上皇や朝廷との結びつきを深めていくと、御家人たちはそのような神輿^gはいらない、担ぎたくないということになり、実朝暗殺^hという事件が起こります。犯人は甥の公暁ですが、実朝の排除は御家人の総意に基づくと言うべきです。この時点に至って、頼朝の血脈という根拠を持っていた源氏將軍家が否定され、將軍が武士である必要がなくなりました。

武士の將軍よりも神輿にふさわしい権威ある人物となると、その第一の候補は、生まれもつての貴種、つまり天皇になります。さすがに天皇がそのまま將軍になるわけにはいきませんから、天皇の皇子である親王ⁱを將軍として担ぎ出そうと北条氏は考えました。当時の文化的な親王は將軍の第一の職務である軍事を担うことはできませんが、軍事も政治も掌握した北条氏がその代行をす

る，という構図です。しかし，実朝が暗殺されたことで，後鳥羽上皇は幕府に対する不信感を抱き，皇子を鎌倉に下向させることを拒否しました。実朝を懐柔することで，鎌倉幕府をコントロールしようという思惑が後鳥羽上皇にはあったわけですが，それも実朝暗殺によって不可能になってしまいました。ここに至って，1221年には，後鳥羽上皇と鎌倉幕府は，軍事的な衝突へと発展していきます。これが j です。

（出典：本郷和人『「将軍」の日本史』中央公論新社，2023年。一部改変あり）

問 1 下線部 a に関連して，比企能員をはじめ，多くの有力御家人が北条氏に滅ぼされた。宝治合戦で滅ぼされた御家人は誰か答えなさい。

問 2 下線部 b に関連して，1199年に発足した「十三人の合議制」は，1225年に設置された幕府の最高政務機関の原型とされる。この最高政務機関は何か答えなさい。

問 3 下線部 c に関連して，以下の問に答えなさい。

- (1) 大江広元が初代長官として政務や財政を取り扱った鎌倉幕府の機関は何か答えなさい。
- (2) 1184年に設置されて訴訟事務を取り扱った鎌倉幕府の機関の初代執事は誰か答えなさい。

問 4 下線部 d に関連して，源頼家が幽閉された伊豆の寺社は何か答えなさい。

問 5 空欄 e に当てはまる，御家人を統制した鎌倉幕府の機関は何か答えなさい。

問 6 下線部 f に関連して，北条氏は将軍を補佐する地位を得たが，この地位を何とよぶか答えなさい。

問7 下線部 g に関連して、後鳥羽上皇が幕府に対抗して軍事力を強化するために新たに置いた組織を何とよぶか答えなさい。

問8 下線部 h に関連して、源実朝が公暁に暗殺された鎌倉の寺社は何か答えなさい。

問9 下線部 i に関連して、1252年、将軍に迎えられた親王は誰か答えなさい。

問10 空欄 j には、後鳥羽上皇と鎌倉幕府の軍事的な衝突が入る。それは何か答えなさい。

問11 空欄 j の後、幕府が京都守護に代わって設置し、朝廷の監視などに当たさせた職を何とよぶか答えなさい。

問12 空欄 j の後、幕府が勝利し、後鳥羽上皇を含め3人の上皇を配流した。後鳥羽上皇に協力し、佐渡に流された上皇は誰か答えなさい。